

令和7年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

普及	大豆品種「リョウユウ」の栽培法
【要約】 県北部の播種適期は 5月20日から6月5日、栽植密度は10アール当たり1.5万から2万本とする。県中部、県南部の播種適期は、それぞれ6月1日から6月10日、6月5日から6月20日とする。成熟期10日後以降から裂莢株率が高まるため、収穫適期になり次第、速やかに刈り取る。	

1 背景とねらい

「リョウユウ」は、ダイズシストセンチュウ（以下「SCN」という。）抵抗性が極強の大豆品種であり、SCN の被害や連作による小粒化が問題となっている産地の生産安定化を図るため、令和5年度に岩手県奨励品種に採用された。そこで、本県に適した栽培法について、地帯別の播種適期や栽植密度等の目安を示すものである。

【令和2年度要望「県北部で栽培可能な大豆新品種の育成」（農業普及技術課農業革新支援担当（久慈農業改良普及センター、二戸農業改良普及センター）】

2 内容

(1) 地帯別播種適期及び栽植密度

地帯	播種適期（月/日）	栽植密度（本/10a）	播種量（kg/10a）
県北部	5/20 - 6/5	15,000 - 20,000	5.0 - 6.6
県中部	6/1 - 6/10	10,000 - 15,000	3.3 - 5.0
県南部	6/5 - 6/20	7,000 - 15,000	2.5 - 5.0

※ただし、県南部で6/20頃に播種する際の栽植密度は10,000 - 15,000本/10aとする。

ア 県北部において、播種適期は終霜後の5月20日から6月5日とし、栽植密度は10アール当たり1.5万から2万本とすることにより、「ナンブシロメ」と同等以上の収量となる（表1）。

6月15日頃の播種では、倒伏程度が高く収量が低下するほか、大粒割合が低くなる（表1、図1）。

イ 県中部の播種適期は、6月1日から6月10日とする。この期間に播種することで「シュウリュウ」と比較し、青立ちの発生が少なく、多収で裂皮粒やしわ粒が少なくなる（表2）。栽植密度は、「シュウリュウ」に準じて10アール当たり1万本から1.5万本とする（文献イ）。

ウ 県南部において、播種適期を6月5日から6月20日、栽植密度を10アール当たり0.7万から1.5万本とすることで、「リュウホウ」と比較し、青立ちの発生が少なく、百粒重は並から重く、裂皮粒やしわ粒が少なくなる。ただし、収量確保のため、6月20日頃に播種する際の栽植密度は、10アール当たり1万から1.5万本とする（表3）。

7月3日頃の播種は、最下着莢高が低くなるほか、大粒割合が低下する（表3、図1）。

(2) 成熟期10日後以降から裂莢株率が高くなるため、収穫適期になり次第、速やかに刈り取ること（図2）。

3 活用方法等

(1) 適用地帯又は対象者等 県北地域の大豆栽培地帯、県内全域のSCN発生ほ場

(2) 期待する活用効果 大豆の安定生産、普及見込み面積 285ha（令和10年）

4 留意事項

(1) 施肥及び病害虫防除等の栽培管理は「リュウホウ」及び「ナンブシロメ」に準じて行うこと。

(2) 立枯性病害抵抗性が「やや弱」なので、ほ場の排水対策を徹底するほか、被害履歴のあるほ場での作付けは避けること。

(3) より寄生性の強いSCNレースの出現リスクを避けるため、他作物との輪作体系を組み、大豆の連作は行わないこと。

5 その他

(1) 関連する試験研究課題

(H19-12) 大豆等奨励品種決定試験及び有望系統の特性調査 [H14~R10/県単]

(2) 参考資料及び文献等

ア (R5-普-05) 大豆品種「リョウユウ」の特性

イ (H25-普-04) 多収、高品質大豆「シュウリュウ」の栽培法

6 試験成績の概要 (具体的なデータ)

表1 県北部における播種期・栽植密度試験結果 [県北農業研究所 (北上市)、R3~6]

播種日 (月/日)	品種	栽植密度 (万本/10a)	開花期 (月/日)	成熟期 (月/日)	倒伏	青立	主茎長 (cm)	最下着莢高 (cm)	主茎節数 (節)	分枝数 (本)	稈実莢数 (莢/㎡)	子実重 (kg/a)	百粒重 (g)	裂皮粒 (%)	しわ粒 (%)
5/25	リョウユウ	1.9	7/30	10/20	1.1	1.6	69	9.3	15.9	4.8	1020	59.1	37.6	2.8	6.3
		1.43	7/30	10/20	1.3	1.5	65	9.1	16.0	5.6	847	51.6	37.2	3.1	5.5
		1.14	7/30	10/20	0.7	1.2	60	8.3	15.7	5.8	745	44.2	36.6	2.7	5.7
6/5	リョウユウ	1.14	7/24	10/18	1.8	3.0	68	10.4	15.5	5.1	826	50.7	28.7	2.8	5.7
		1.9	8/2	10/23	1.2	1.2	66	8.5	15.3	3.9	870	56.7	36.6	2.4	5.1
		1.43	8/2	10/23	1.2	1.2	62	9.7	15.6	4.8	801	52.0	36.2	2.1	6.7
6/15	リョウユウ	1.14	8/2	10/22	0.8	0.8	59	9.2	14.4	5.6	713	44.4	35.7	2.6	6.0
		1.14	7/31	10/22	1.9	1.5	57	10.9	14.8	5.6	898	49.6	27.4	2.2	6.0
		1.9	8/4	10/25	2.2	1.7	67	10.4	15.2	4.2	831	46.2	35.6	1.8	7.3
6/15	リョウユウ	1.43	8/5	10/24	1.9	1.6	61	9.3	15.4	5.0	735	45.3	35.6	1.6	3.8
		1.14	8/6	10/24	1.7	1.2	58	8.8	15.2	5.9	740	42.3	35.6	1.2	5.2
		1.14	8/4	10/23	2.4	1.2	59	9.4	14.4	5.4	767	46.2	29.3	1.3	3.6

※栽植密度 1.9、1.43、1.14 万本/10a の各区における株間はそれぞれ 15、20、25cm で、条間は全て 70cm、1 株 2 本仕立て。

以下表 1~3 共通。

※倒伏及び青立程度：0：無、1：微、2：少、3：中、4：多、5：甚の 6 段階評価。

※「裂皮粒」は莢ずれ粒を含む。また、「裂皮粒」、「しわ粒」は軽微なものを含む。

表2 県中部における奨励品種決定現地試験結果 (盛岡市、R3~5)

品種	栽植密度 (万本/10a)	開花期 (月/日)	成熟期 (月/日)	倒伏	青立	主茎長 (cm)	最下着莢高 (cm)	主茎節数 (節)	分枝数 (本)	稈実莢数 (莢/㎡)	子実重 (kg/a)	百粒重 (g)	裂皮粒 (%)	しわ粒 (%)
リョウユウ	0.95	7/29	10/17	0.5	1.2	56	10.9	15.6	6.4	674	26.8	37.5	2.1	1.4
シュウリュウ	0.95	7/29	10/17	0.7	1.8	61	13.0	16.1	4.6	485	23.1	38.5	11.9	4.3
ナンブシロメ	0.95	7/26	10/19	2.0	1.7	64	11.9	15.3	6.3	603	29.0	28.8	18.8	1.8

※各年次の播種日はそれぞれ 6/1 (R3)、6/6 (R4)、6/10 (R5) で、栽植様式は各区とも条間 70cm、株間 15cm、1 株 1 本仕立て。

表3 県南部における播種期・栽植密度試験結果 [農業研究センター (北上市) R6~7]

播種日 (月/日)	品種	栽植密度 (万本/10a)	開花期 (月/日)	成熟期 (月/日)	倒伏	青立	主茎長 (cm)	最下着莢高 (cm)	主茎節数 (節)	分枝数 (本)	稈実莢数 (莢/㎡)	子実重 (kg/a)	百粒重 (g)	裂皮粒 (%)	しわ粒 (%)
6/5	リョウユウ	1.43	7/28	10/21	0.0	1.5	59	13.0	16.3	3.5	646	37.6	37.3	9.0	3.5
		0.95	7/28	10/21	0.0	1.3	58	13.5	16.9	4.1	512	30.5	36.0	7.1	6.0
		0.71	7/28	10/21	0.0	1.5	54	10.8	17.2	4.9	527	34.7	37.9	9.1	8.3
6/20	リョウユウ	0.95	7/25	10/13	0.0	2.5	52	10.2	14.7	4.8	686	37.7	35.1	11.6	17.8
		1.43	8/5	10/23	0.0	1.0	54	10.9	15.6	3.3	626	33.6	37.3	5.1	2.7
		0.95	8/5	10/22	0.0	0.5	47	9.3	15.1	4.4	511	33.3	35.9	4.6	3.6
7/3	リョウユウ	0.71	8/5	10/22	0.0	0.8	46	8.3	15.8	5.1	495	30.1	35.4	3.3	5.3
		1.43	8/3	10/23	0.3	2.5	58	13.2	14.7	3.5	735	35.8	35.9	7.5	13.9
		1.43	8/12	10/25	0.0	0.3	37	6.6	13.5	4.0	649	28.3	34.1	2.0	8.3
7/3	リョウユウ	0.95	8/12	10/25	0.0	0.3	35	6.1	13.6	5.1	558	30.1	34.3	2.3	3.2
		0.71	8/12	10/25	0.0	0.5	31	5.6	12.9	5.9	523	27.2	33.5	1.9	5.4

※栽植密度 1.43、0.95、0.71 万本/10a の各区における株間はそれぞれ 10、15、20cm で、条間は全て 70cm (1 株 1 本仕立て)。

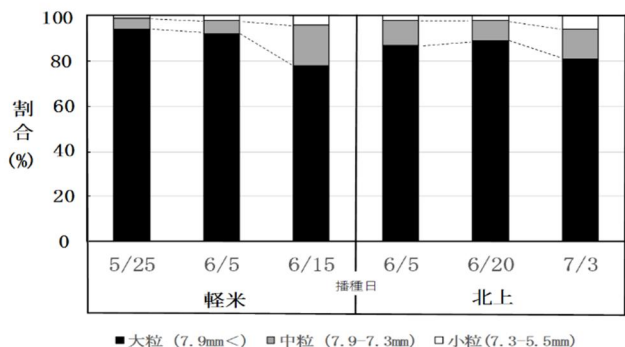


図1 播種期別の粒大割合 (R5~6、軽米、R6~7、北上)

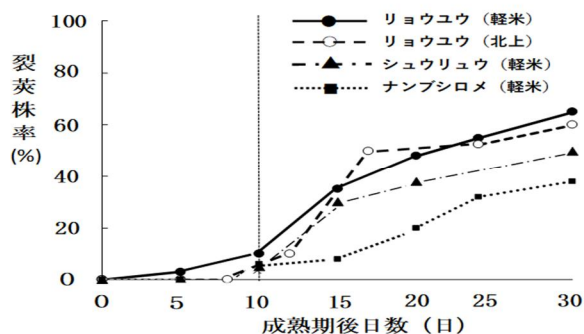


図2 成熟期後日数と裂莢株率の関係 (R6~7、軽米、北上)

※播種日：軽米は 5/25、北上は 6/5。

※成熟期：軽米はリョウユウ 10/20、ナンブシロメ 10/18、シュウリュウ 10/21。北上はリョウユウ 10/22。

【担当】○県北農業研究所 作物研究室、生産基盤研究部 水田利用研究室